

令和7年9月定例会

令和7年9月18日(本会議) 一般質問

3 持続可能なまちづくりについて

(1) 地域の活性化について

石川: 湘南台駅地下アートスクエアについて、七夕まつりやマンガ展など多様なイベントが行われております。初めに、直近の使用件数のほか、どのような人たちがどのように使用しているのか、使用状況をお聞かせください。

市民自治部長: 湘南台駅地下アートスクエアの使用件数でございますが、令和6年度の実績は、使用件数が63件、使用日数が170日となっております。

続きまして、使用状況でございますが、藤沢市が開催するイベントのほか、湘南台地区郷土づくり推進会議をはじめとした地域の様々な団体が、コンサートや発表会、展示活動などの場として利用しております。また、今年度で開催された七夕まつりでは、大学生と高校生が実行委員会の委員長と副委員長を務め、商店街や鉄道会社、警察など多様な主体が参加するなど、利用者の層も広がってきております。

石川: 湘南台駅地下アートスクエアは、様々な方が関わってつくられた素晴らしい場所であると思います。一方で、湘南台駅周辺まで視野を広げると、昨年度、車で10分ほどのところに大きな商業施設が開業し、湘南台地域の方々から地元への影響を心配する声が伝わってきます。アートスクエアだけではなく、湘南台駅周辺の活性化に関する取り組みをお聞かせください。

市民自治部長: 昨年度からの取り組みとして、郷土づくり推進会議がアートスクエアで開催するイベントと連携する形で、地上部では湘南台地区の商店街による路上販売イベントをこれまでに3回行ってきております。このイベントを通じて、よかった、もう少し多くの方に関わってほしかったなど様々な反響もございますので、今後も市民や地域の事業者と意見交換しながら、地域の活性化に向けた共創の取り組みを進めることにより、湘南台地区ならではの付加価値を創出してまいりたいと考えております。

また、中長期的な視点では、官民連携のまちづくりに取り組む外部コンサルタントの支援のもと、アートスクエアを含む都市空間の有効活用とエリア価値向上について勉強会やワークショップ等を開催するなど、地域のさらなる活性化に向けて取り組んでいるところでございます。

石川:まちづくりに関する勉強会やワークショップを実施し、地域での議論を進めているということですが、勉強会などでは具体的にどのようなことをしているのか。全国的に見ると、様々な制度を活用し、地域の活性化を図っている自治体がある。勉強会では、そのような内容を含めて議論を行っているのでしょうか、お聞かせください。

市民自治部長:勉強会やワークショップの実施内容ですが、令和5年度は、まちづくりへの市民参加の意義などについての勉強会を開催し、令和6年度はアーツスクエアの利活用アイデアや管理運営体制について、ワークショップなどを3回開催しました。今年度は、アーツスクエアのみならず、湘南台地区全体の活性化について検討の幅を広げ、議論を行っております。議員御指摘のとおり、地域活性化を目的とした仕組みは多様でございますので、外部コンサルタントの方からも様々な制度や取り組み事例の御紹介などのアドバイスを受けながら、特定の手法に限定せず、市民の皆様の積極的な意見交換や、将来を見据えた議論の場を創出するなど、市として可能な支援を行ってまいりたいと考えております。

石川:市民の意見を尊重する姿勢は大変評価できると思います。市として、今後の湘南台地区のまちづくりについて検討している内容をどのように生かしていくのか、考えをお聞かせください。

市民自治部長:湘南台地区は、本市の都市マスタープランで北部地域における文化・交流拠点として位置づけられており、関係人口や交流人口の拡大によるにぎわいの創出とソフト面でも質の高い都市空間の形成に向けた取り組みを進めていくことが重要であると捉えております。

そのことを踏まえますと、アーツスクエアは地域要望を起点に整備、活用されてきた公共空間でございますが、まちづくりの視点で捉え、湘南台文化センター、湘南台公園、駅周辺の道路など多様な公共空間等も利活用し、地域住民はもとより、地域の事業者や学生など多様な主体とともに、湘南台地区全体のまちづくりのさらなる深化、充実を共創していくことが重要であると考えております。市といたしましても、現在取り組んでいる勉強会やワークショップ等で得られた意見を生かし、関係各所と連携しながら、市民のウェルビーイングにつながるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

石川:今後も産学官連携として学生や地元企業、自治体が連携をし、地域の課題の解決や新たな価値の創出に向けた具体的なプロジェクトを展開することで、地域活力の持続につなげるよう、よろしくお願いいたします。